

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年8月3日(2006.8.3)

【公表番号】特表2006-507324(P2006-507324A)

【公表日】平成18年3月2日(2006.3.2)

【年通号数】公開・登録公報2006-009

【出願番号】特願2004-551394(P2004-551394)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/4035	(2006.01)
A 6 1 K	45/06	(2006.01)
A 6 1 P	1/16	(2006.01)
A 6 1 P	1/18	(2006.01)
A 6 1 P	7/00	(2006.01)
A 6 1 P	7/04	(2006.01)
A 6 1 P	7/06	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	15/08	(2006.01)
A 6 1 P	17/04	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	27/16	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/02	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
C 0 7 D	209/46	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	31/4035	
A 6 1 K	45/06	
A 6 1 P	1/16	
A 6 1 P	1/18	
A 6 1 P	7/00	
A 6 1 P	7/04	
A 6 1 P	7/06	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	15/08	
A 6 1 P	17/04	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	27/16	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	35/02	
A 6 1 P	43/00	1 0 5
A 6 1 P	43/00	1 1 1
C 0 7 D	209/46	

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月2日(2006.6.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 0

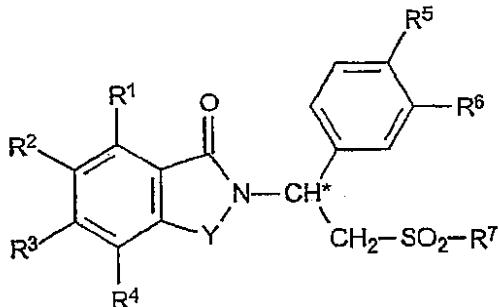
【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 0】

前記選択的サイトカイン阻害薬が式(III)：

【化4】



(III)

[式中、*で印した炭素原子はキラル中心を構成し；

Yは、C=O、CH₂、SO₂、またはCH₂C=Oであり；

R¹、R²、R³、およびR⁴のそれぞれは、互いに独立して、水素、ハロ、1～4個の炭素原子を有するアルキル、1～4個の炭素原子を有するアルコキシ、ニトロ、シアノ、ヒドロキシ、または-NR⁸R⁹であるか、隣接する炭素原子上のR¹、R²、R³、およびR⁴のうちの任意の2つは、示したフェニレン環と一緒にになってナフチリデンであり；

R⁵およびR⁶のそれぞれは、互いに独立して、水素、1～4個の炭素原子を有するアルキル、1～4個の炭素原子を有するアルコキシ、シアノ、または18個までの炭素原子を有するシクロアルコキシであり；

R⁷は、ヒドロキシ、1～8個の炭素原子を有するアルキル、フェニル、ベンジル、またはNR⁸、R⁹であり；

R⁸およびR⁹のそれぞれは、互いに独立して、水素、1～8個の炭素原子を有するアルキル、フェニル、またはベンジルであるか、R⁸およびR⁹のうち一方が水素であり他方が-COR¹⁰または-SO₂R¹⁰であるか、R⁸およびR⁹は一緒にになって、テトラメチレン、ペンタメチレン、ヘキサメチレン、または-CH₂CH₂X¹CH₂CH₂-であり（式中、X¹は-O-、-S-または-NH-である）；

R⁸およびR⁹のそれぞれは、互いに独立して、水素、1～8個の炭素原子を有するアルキル、フェニル、またはベンジルであるか、R⁸およびR⁹のうち一方が水素であり他方が-COR¹⁰または-SO₂R¹⁰であるか、R⁸およびR⁹は一緒にになって、テトラメチレン、ペンタメチレン、ヘキサメチレン、または-CH₂CH₂X²CH₂CH₂-であり（式中、X²は-O-、-S-、または-NH-である。）、

R¹⁰は、水素、1～8個の炭素原子を有するアルキル、またはフェニルであり、

R¹⁰は、水素、1～8個の炭素原子を有するアルキル、またはフェニルである]を有する、請求項1～4のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0046】

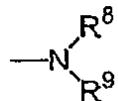
上記式中、nは、1、2、または3の値を有し；

R^5 は、置換されていない、またはニトロ、シアノ、トリフルオロメチル、カルボエトキシ、カルボメトキシ、カルボプロポキシ、アセチル、カルバモイル、アセトキシ、カルボキシ、ヒドロキシ、アミノ、アルキルアミノ、ジアルキルアミノ、アシルアミノ、1~10個の炭素原子を有するアルキル、1~10個の炭素原子を有するアルコキシ、およびハロからなる群からそれぞれ独立して選択された1~4個の置換基で置換されたo-フェニレン；

R^7 は、(i)フェニル、またはニトロ、シアノ、トリフルオロメチル、カルボエトキシ、カルボメトキシ、カルボプロポキシ、アセチル、カルバモイル、アセトキシ、カルボキシ、ヒドロキシ、アミノ、1~10個の炭素原子を有するアルキル、1~10個の炭素原子を有するアルコキシ、およびハロからなる群から互いにそれぞれ独立して選択された1つまたは複数の置換基で置換されたフェニル、(ii)置換されていない、またはニトロ、シアノ、トリフルオロメチル、カルボトキシ、カルボメトキシ、カルボプロポキシ、アセチル、カルバモイル、アセトキシ、カルボキシ、ヒドロキシ、アミノ、1~10個の炭素原子を有するアルキル、1~10個の炭素原子を有するアルコキシ、およびハロからなる群から選択された1~3個の置換基で置換されたベンジル、(iii)ナフチル、ならびに(iv)ベンジルオキシであり；

$R^{1~2}$ は、-OH、1~12個の炭素原子を有するアルコキシ、または

【化2】



【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0053

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0053】

上記式中、*で印した炭素原子はキラル中心を構成し；

Yは、C=O、CH₂、SO₂、またはCH₂C=Oであり；R¹、R²、R³、およびR⁴のそれぞれは、互いに独立して、水素、ハロ、1~4個の炭素原子を有するアルキル、1~4個の炭素原子を有するアルコキシ、ニトロ、シアノ、ヒドロキシ、または-NR⁸R⁹であるか、隣接する炭素原子上のR¹、R²、R³、およびR⁴のうち任意の2つは、示したフェニレン環と一緒にになってナフチリデンであり；

R⁵およびR⁶のそれぞれは、互いに独立して、水素、1~4個の炭素原子を有するアルキル、1~4個の炭素原子を有するアルコキシ、シアノ、または18個までの炭素原子を有するシクロアルコキシであり；

R⁷は、ヒドロキシ、1~8個の炭素原子を有するアルキル、フェニル、ベンジル、またはNR⁸、R⁹であり；

R⁸およびR⁹のそれぞれは、互いに独立して、水素、1~8個の炭素原子を有するアルキル、フェニル、またはベンジルであるか、R⁸およびR⁹のうち一方が水素であり他方が-COR^{1~0}または-SO₂R^{1~0}であるか、R⁸およびR⁹は一緒にになって、テトラメチレン、ペンタメチレン、ヘキサメチレン、または-CH₂CH₂X¹CH₂CH₂-であり（式中、X¹は-O-、-S-または-NH-である）；

R⁸およびR⁹のそれぞれは、互いに独立して、水素、1~8個の炭素原子を有するアルキル、フェニル、またはベンジルであるか、R⁸およびR⁹のうち一方が水素であり他方が-COR^{1~0}または-SO₂R^{1~0}であるか、R⁸およびR⁹は一緒にになって、テトラメチレン、ペンタメチレン、ヘキサメチレン、または-CH₂CH₂X²CH₂CH₂-であり（式中、X²は-O-、-S-または-NH-である。）、

R^{1~0}は、水素、1~8個の炭素原子を有するアルキル、またはフェニルであり、

R¹ ～ R⁸ は、水素、1～8個の炭素原子を有するアルキル、またはフェニルである。